

千代田俳句同好会

鳥帰る湖に木杭の残りけり
剣玉のリスム取る藤花菜風
花びらのそれぞれに風白木蓮
釣り舟や流るるまに春の湖
金紙のミルクキャラメル水温む

紫陽花俳句会

書を伏せてはしまろう春炬燵
房総の海かやけり春うらら
猪と棲みしはば度野趣失せず
春蘭や夕日はなやまても淋し
春蘭や木洩れ日集めひそと咲く

出島短歌会

これと云ふスケジュールのなき年に生き勝手気ままに庭の草引く
今年こそ楽しいこのありそな気持だけだ空廻りする
公孫樹の実ふみつ歩む上野もり音かすかしてゆく風みえず
木立ちより木立ちにうつる風ありて葉の裏表わからなくなる

投稿作品

労わりて冬の寒さを凌ぎつつ休みし畑に菜の花を見る
笑顔などあまり記憶にない夫夢に出て来て笑顔満載
水温む川辺に集り釣り人に陽光眩しく公魚躍る
二機三機あかねに光り夢のせてまたおいてなせおらが茨城
取す母に桜の小枝かきし日よ早幾歳の今年も咲けり
手をひかれ狐(面おもて)に一の午
春彼岸姉と故郷(画)き追う

中島 暉子
萩原 初枝
福田 妙子
山内 勝昭
飯沼 礼子

飯田 功
久保 悦子
田能 幸雄
萩原 とし子
福田 宏通

飯島 ヒロエ
名倉 観子
浜田 留子
岡田 恭子

石塚 清
菅谷 味子
沼野 はつ子
吉田 正道
中島 良平
扶美 世
やまぐち さむ

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。5月2日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。

わがふるさと 史宝をたずねて

市民学芸員が行く

シリーズ⑥

かすみがうら市には、多くの指定文化財があります。今月から代表的な指定文化財を十二回にわたり紹介します。

椎名家住宅

029(896)0017

今回取り上げるのは、本市で唯一の国指定文化財の「椎名家住宅」です。加茂地区の御殿集落にある茅葺屋根の古民家「椎名家住宅」は、昭和四十六年の解体修理で「延宝二年」と墨書きされた部材が発見されて、一六七四年に建築されたことが判明しました。建てられた時代が判明する住宅としては、東日本最古のものでした。

住宅内部は、ひんやりとした暗い空間で、三分の一は土間となっています。土間には、カマドが設置されており、ここで料理が行われました。土間から板の間を見ると太い柱があります。大黒柱です。大黒柱をよく見ると表面の削った痕が、魚の鱗のような形をしています。これは、現在の大工さんが使っている鉋が一般的でない江戸時代前期に使用された蛤刃の手斧(ちゆうなで)で削った痕です。

土間から部屋に上がり、上に目を向けてみると天井に裏板がありません。さ

らに土間から見ると奥の部屋にしか畳は敷かれてなく、その他の部屋は板の間です。江戸時代は、質素節約を常としていたため、なるべく住宅に用いる材料を少なくし、大工さんの手間をかけるようにと天井や畳は省かれました。

椎名家住宅は、現在の住宅様式とかなり違う造りとなっています。特に、大きな間取りで個別な部屋が少なく、ここで暮らす家族にとって、いつでも誰がどの部屋で何をしているかが一目瞭然となるような構造となっています。このような住宅建築は、日本人の共同体意識を強める要因ともなつたと考えられています。

すばらしいかすみがうら市の文化遺産に対し一人でも多くの市民の方々が関心を寄せていただければ、市民学芸員の会では椎名家住宅の清掃や環境整備を毎月行っております。椎名家住宅を見学しながら、現在の生活にはない古き良き日本人の伝統文化を感じてみませんか。

今回は木村家住宅、皆川屋旅館を紹介いたします。(深井 征一郎)



↑国指定文化財の椎名家住宅(加茂4148)

思い出は永遠に!

~市内7小学校が閉校~

閉



校

2月20日に美並小学校と佐賀小学校、27日に共倉小学校と志士庫小学校、牛渡小学校、3月26日に下大津小学校と安飾小学校で閉校式が行われ、在校生や卒業生、保護者および歴代校長や地域の方々などが出席し、思い出が詰まった学び舎との別れを惜しみました。

式典では、小学校ごとのスライドショーの上映や歴代の卒業アルバムを展示するなど、懐かしい思い出を振り返りました。また、趣向を凝らした催しとして、児童による合唱や和太鼓、感謝のこぼれなどが行われ、最後には各校で校長による校旗返納で、その歴史に幕を閉じました。

4月からは、霞ヶ浦南小学校と北小学校の2校が開校し、新たな歴史が始まりました。

